

自施設または連携医療機関以外の医療機関に往診を依頼する場合の留意点

自施設または連携医療機関での対応が困難な場合、保健所からの依頼により、他の医療機関が往診することも可能です。必要があれば速やかに保健所にご相談ください。また、往診の際には次のことが必要となりますので、あらかじめ知っておいてください。

1 陽性となった方のリストアップ

どのような治療の対象となるかを医師が判断するために必要です。

- 氏名 年齢 発症日 基礎疾患
- ワクチン接種の有無 酸素飽和度
- 保険証、公費医療証等の保険医療に必要な情報

パルスオキシメーターで酸素飽和度を測定してください。
※93%以下の場合、治療方針に影響することがあります。

2 新型コロナ治療薬の投与についての同意

新型コロナ治療薬のうち、次の薬剤を投与する際には、本人または家族の同意が必要です。

➔ **ラゲブリオ(別添1)、パキロビッドパック(別添2)**

医師の診断により、投与が決まった際に、ご家族へのご連絡等をお願いしますので、陽性となった方のご家族の連絡先などを事前にご準備ください。また、治療の同意書への署名も必要です。

※添付のラゲブリオ、パキロビッドパックの説明文同意書は、令和4年3月時点でメーカーが公表している資料です。必ず最新のものを確認するとともに医療機関の指示を受けてください。

3 連携医療機関以外の医療機関が往診することについて、施設内での共有と同意

ご本人(またはご家族)にも同意を得てください。

また、治療のため、複数回往診することがあります。

治療を適切に行うため、施設と連携することが重要ですので、関係者に連携医療機関以外の医療機関が往診することについて了解を得てください。

- 本人または家族
- 施設管理者
- 管理医師
- 当日の現場責任者

当日、医師が治療準備をするためのグリーンゾーンを準備してください。



トラブルを回避するため、主治医・ご本人(またはご家族)に「往診医療機関による診療を受けること」「保険情報や患者情報を提供すること」の同意を得てください。

